

2 ウツボカズラの模型

Nepenthes 'Dyeriana'
をモデルにFRP製で、つぼ中の構造が見えるようにした。



写真2. ウツボカズラの模型

3 解説パネル

- ①食虫植物とはどういうものかを説明 (写真3)
- ②虫の捕まえ方のタイプを説明 (写真4)
- ③世界の食虫植物の分布を世界地図上で説明



写真3. 解説パネル

4 拡大鏡での観察

ハエトリソウ、モウセンゴケの形態を拡大鏡で見よう展示した。



写真5. 拡大鏡による観察



写真4. 解説パネル

5 ハエトリソウの大型模型

記念写真撮影用として、FRP製のハエトリソウ模型を設置した。



写真6. 記念撮影コーナー

6 その他周囲の展示

天井部に、頭上よりウツボカズラが下がるように取り付け、柵にも同じく取り付けました。



写真7. ハンギング用の鉢に植え付けたウツボカズラ

7 展示品種

- ① ウツボカズラ 計37株

Nepenthes ampullaria

N. ampullaria var. *vittata*

N. khasiana

2株

<i>N. maxima</i>	11株
<i>N. maxima</i> × <i>veichii</i>	
<i>N. merrilliana</i> hyb.	
<i>N. mirabilis</i>	
<i>N. rafflesiana</i>	
<i>N. rafflesiana</i> var. <i>nivea</i>	
<i>N. truncata</i> hyb.	
<i>N. ventricosa</i> (♀)	
<i>N. 'Dyeriana</i>	9株
<i>N. Facile</i> Koto	
<i>N. Fukakusana</i>	
<i>N. Issei</i>	
<i>N. 'Mastersiana'</i>	
<i>N. Rubescens</i>	
<i>N. Sanyo</i>	

② サラセニア	計44株
<i>Sarracenia flava</i>	32株
<i>S. leucophylla</i>	7株
<i>S. minor</i>	3株
<i>S. purpurea</i> × <i>psittacia</i>	2株
③ ムシトリスミレ類	計30株
<i>Pinguicula</i> cv.	
④ ハエトリソウ	計20株(11月まで)
<i>Dionaea muscipula</i>	
⑤ モウセンゴケ類	計10株
<i>Drosera capensis</i>	
⑥ タヌキモ属	
<i>Utricularia bifida</i>	1株
<i>U. gibba</i>	小型水槽1基
<i>U. sandersoni</i>	1株



(3) 熱帯スイレン、オオオニバス

植栽状況

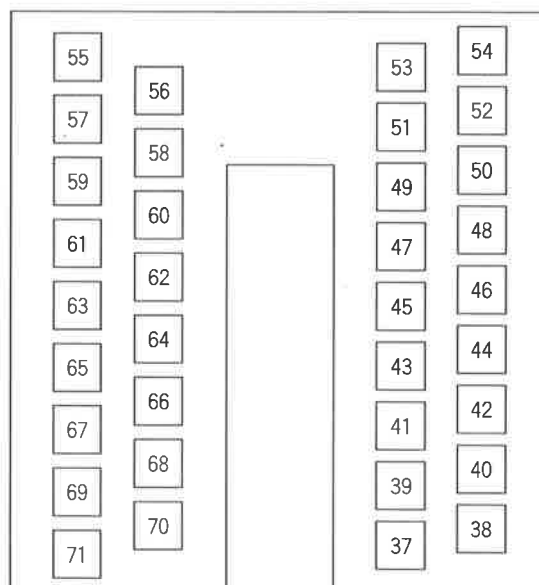
永井親雄・坂原治男

上池は2003年6月12日に、下池は同年12月10日にそれぞれ全鉢の土壌入れ替え及び植替えを行った。なお、用土は田土のほか、赤玉土中粒を上池：1/3袋、下池：1/2袋混合した。

オオオニバス類は、オオオニバスの子株・種子を2002年9月に熱川バナナワニ園より、パラグアイオニバスの種子を2003年3月に下関市立園芸センターより導入した。

オオオニバスは、子株を直ちに植え付け、さらに播種し、新株を植えた。持ち帰った子株は、2003年8月下旬ころより、新葉が縮れるなどの症状が出たため、9月中旬に廃棄した。パラグアイオニバスは、2003年3月に播種し、5月に植え付けた。梅雨期までの生育はすこぶる順調であったが、夏季の低温・日照不足のためか生育が停滞し、8月下旬の試乗体験会時の葉直径は1m 30cm程度であった。ロングウッドオオオニバスは、2001年に当園で交配した種を栽培展示した。生育はパラグアイオニバス同様であった。

上池 (37~71)



下池 (1~36)

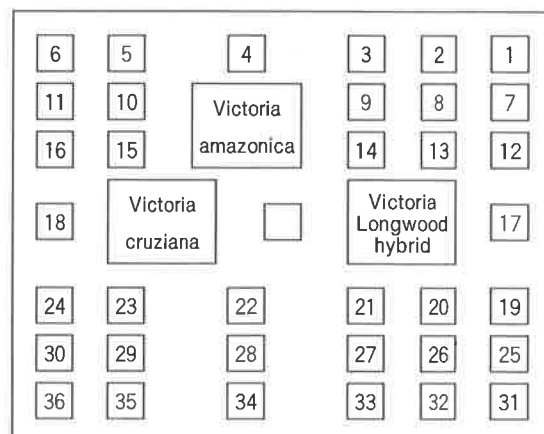


図. 熱帯スイレン温室植栽図